



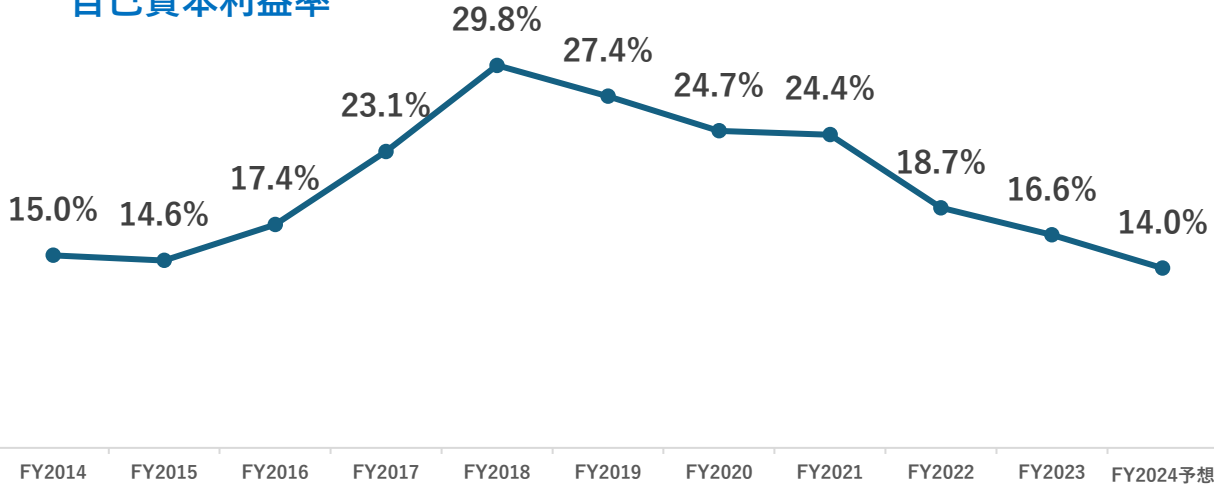
資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

福井コンピュータホールディングス株式会社

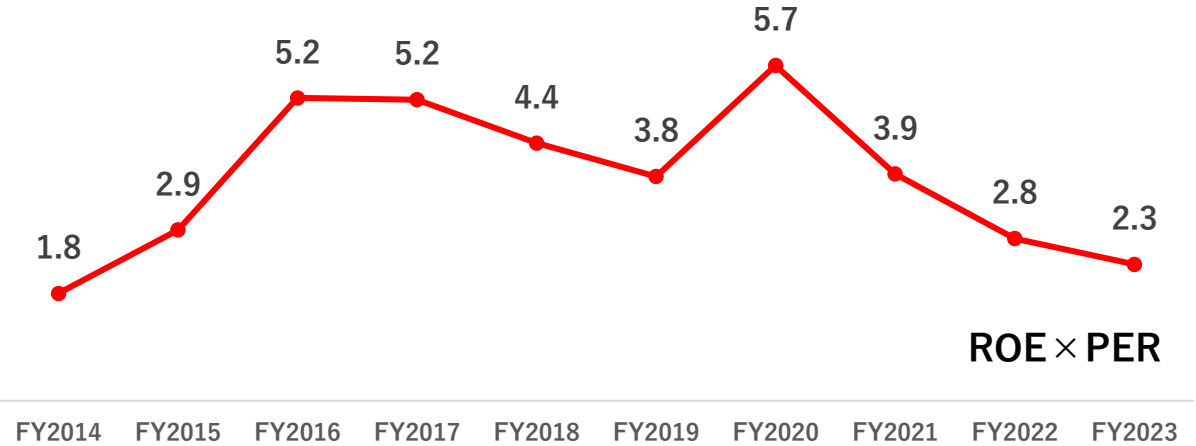
現状分析（要因分析）

足元のPBRは2.0倍を上回るもROE、PERを上昇させ改善を目指します。

ROE 自己資本利益率

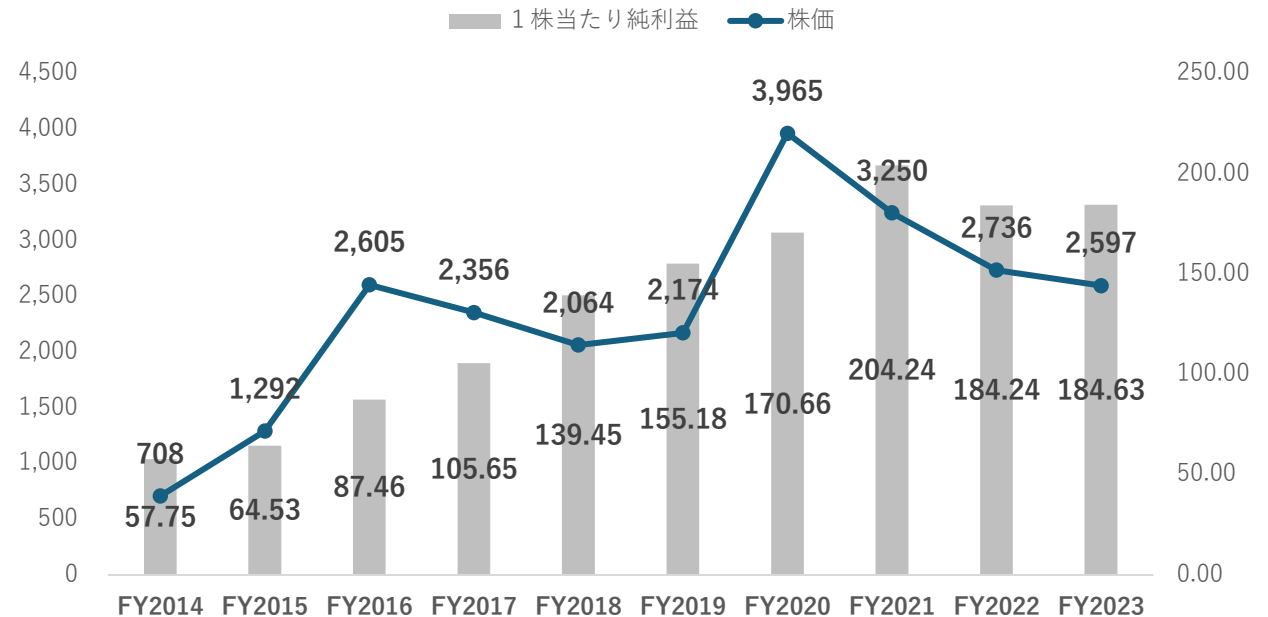
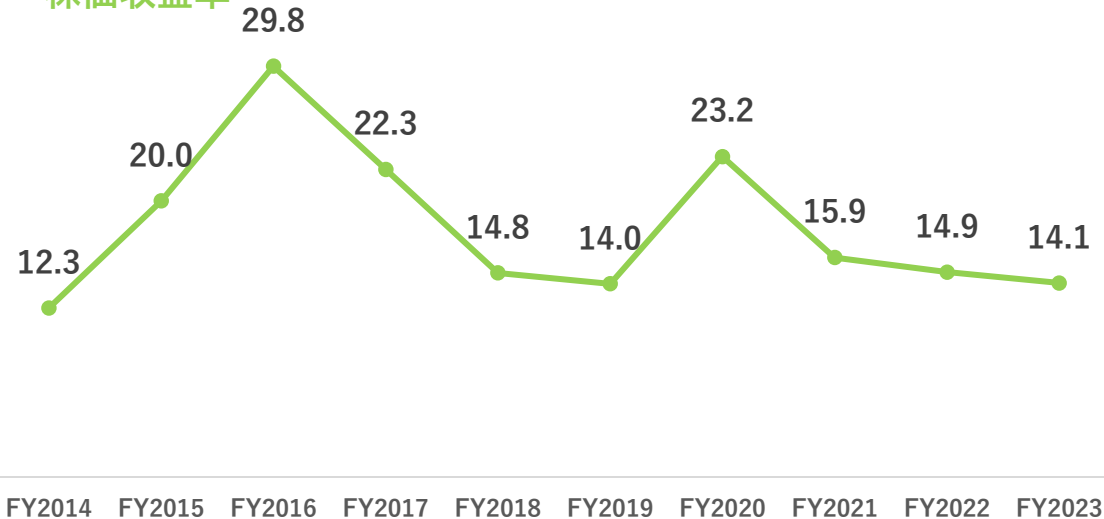


PBR（倍） 株価純資産倍率



ROE × PER

PER（倍） 株価収益率



現状分析 (ROE)

売上高
純利益

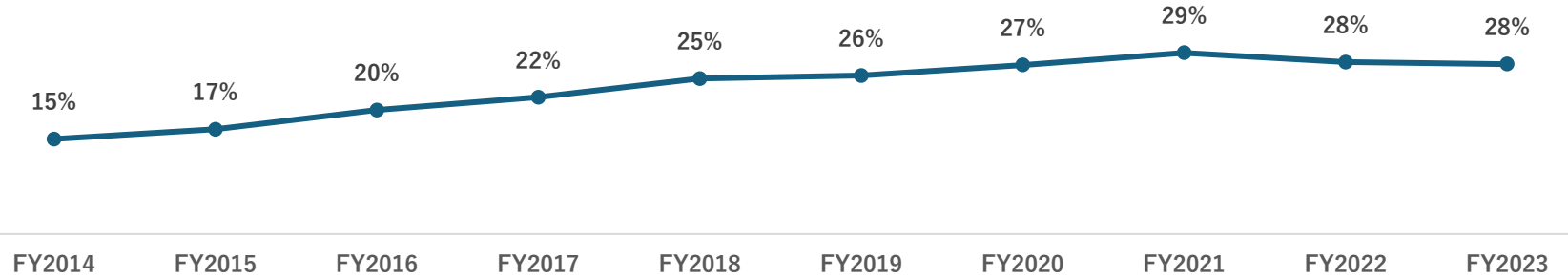
×

総資産
回転率

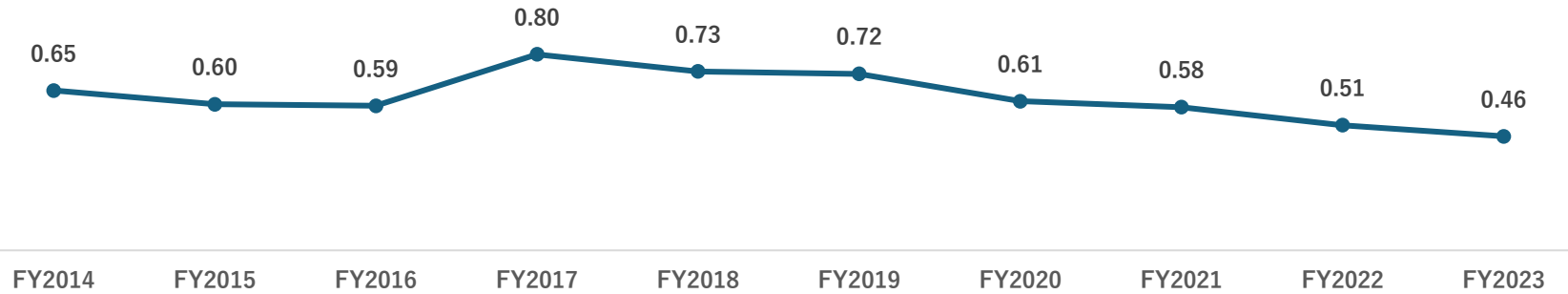
×

財務レバ
レッジ

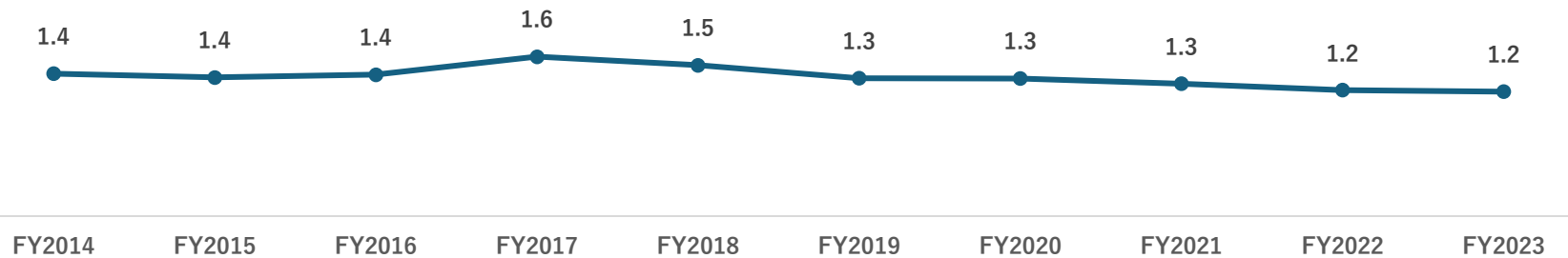
当期純利益
売上高



売上高
総資産



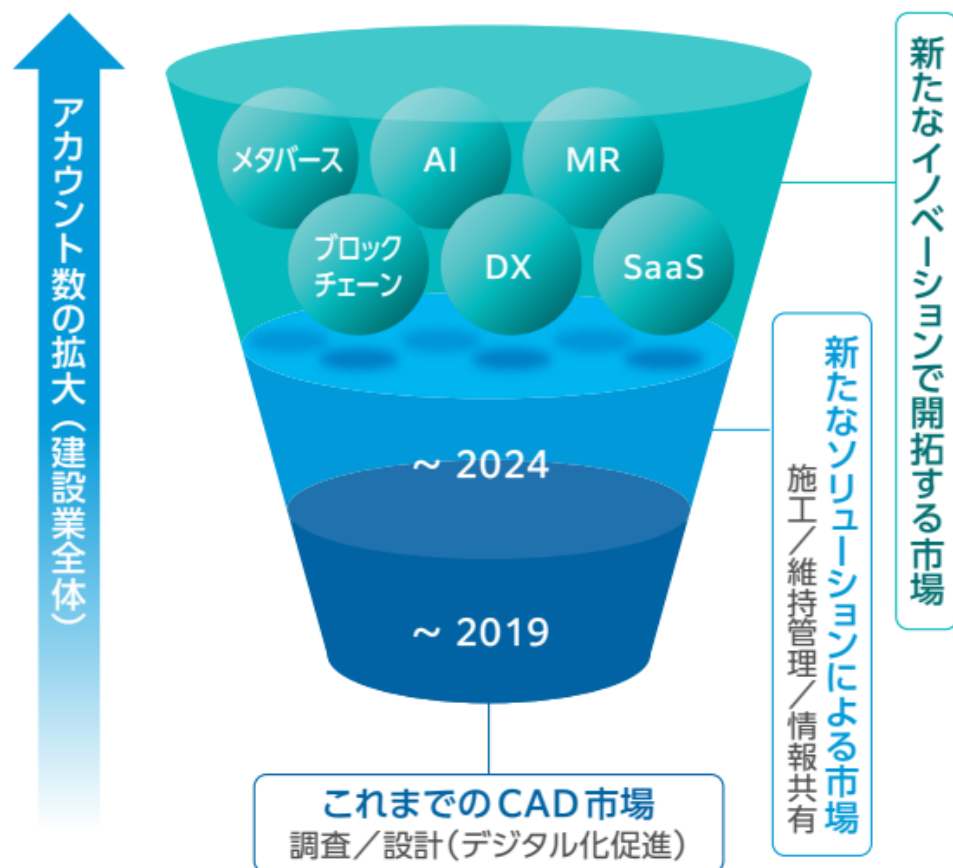
総資産
自己資本



売上増加と最適な原価設定を実施し、営業利益率の上昇を目指します。

アカウント戦略を実行し、ARPAを増加させることで利益率向上を狙いROEの改善につなげます。

詳細な方針につきましては、今後開示予定の中期経営計画にて掲載予定です。



- 新たなサービスの開発、事業持続性の強化を行うための重点施策として、アカウント戦略を実行しております。
- 当社グループの売上のうち、相当の割合を占めている「調査」「設計」を主体とした建設関連のシステム事業は営業基盤を生かしつつアカウント数を増加させ、成長につなげてまいります。「施工」「維持管理」「情報共有」分野の展開に注力し、ソリューション提供ゾーンを広げることで、アカウント数の拡大を行いさらなる成長へつなげてまいります。